

## 1学期クラスマッチ(高校2024.6.18～19 中学6.20～21)

1学期のクラスマッチが、午後の時間を利用して、中高2日ずつ行われました。

種目は生徒諸君からいろいろなアイデアが出されるため、毎回少しずつ変わります。サッカーやソフトボール等の定番種目に加え、卓球やテニスのような個人競技、将棋・オセロといった文化系種目も準備されています。主種目と掛け持ち出場ができる副種目としてドッジボールやリレーもあり、また今回、中学では時間を持て余した人のためにリフティングや縄跳びなども準備されました。

1学期のクラスマッチは梅雨の時期にあたり、降雨のため屋外競技が中止されることもしばしばありますので、最初から「晴天プログラム」と「雨天プログラム」が用意されています。今年は高校は2日とも、中学は1日は天候に恵まれ、雨天プログラムは中学の1日だけで済みました。

本校のクラスマッチは、他の学校行事同様、生徒会執行部と実行委員会が企画から運営までを行います。特に各クラスから2～3名選ばれる実行委員が、実施要領の編集、対戦カードの決定、タイムキーパー、結果の記録、各クラス獲得ポイントや順位の算出など極めて重要な仕事を担い、実行委員抜きではクラスマッチが成り立ちません。クラスによってはみんな試合に出たくて仕方なくじゃんけんで決定、ということもありますが、大体どのクラスにも実行委員の希望者がおり、また怪我などで試合に出場できない生徒が進んで引き受けてくれることもあります。彼らのおかげで、多くの生徒がクラスマッチを楽しんでいます。

また生徒諸君が楽しみにしているのが「教員戦」すなわち優勝チームと教員チームが対戦するエキシビジョンマッチです。今年は高校がソフトボールとサッカー、中学はバスケットボールで教員戦を行いました。このときにはグラウンドを見下ろす高校校舎のベランダは生徒で埋まり、コートサイドまで出てくる生徒もたくさんいます。そこで繰り広げられる珍プレー・好プレーに歓声が上がり、大きな拍手が送られました。



(左上)高校サッカー (左中)中学バスケ (左下)教員戦

(右上)高校バレー (右中)中サッカー (右下)高校ソフト